

# JHL NEWS

No.16

2013年12月24日  
●発行●  
日本ハンドボールリーグ機構  
会長 多田 博  
東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 03-3481-2494

## 琉球が湧永に快勝、プレーオフに望みつなぐ

### ～第38回 日本ハンドボールリーグ・第15週～

第38回日本ハンドボールリーグ・第15週は、来春1月末よりバーレーンで開催される第16回男子アジア選手権のために日程変更となった男子1試合が12月22日に大阪で行われ、5位の琉球コラソンが4位の湧永製薬に25-22と競り勝ち、初のプレーオフ進出に望みをつないだ。

大阪での湧永-琉球は、1600人を超える観衆が詰めかけた中、琉球のプレーオフで試合開始。立ち上がり湧永が速攻から3連取したが、琉球が3:3の高いディフェンスで対抗すると湧永は攻めあぐんだ。その間、琉球は東長濱のステップシュートなどで12分過ぎに6-5と逆転すると、その後も棚原のロングシュートや速攻で連取し、20分13-9と4点リードを奪った。それでも湧永は、前半終盤に入って6:0ディフェンスで守り、成田のロングシュートなどで得点を重ね、12-13と1点差まで追って前半を終了。

後半は15分過ぎまで両チームのGKの好セーブもあって一進一退のゲームが続く。17分、湧永・木村の退場の間に琉球がサイドシュートで2点リード。湧永はポストやミドルシュートで21分21-21と同点に並ぶが、終盤の勝負所でミスが相次いだ。一方の琉球は棚原のカットインなどで加点、残り1分を切って名嘉(真)が3点差となるダメ押しゴールを決め、勝利をものにした。

次週は1月11日に三重などで女子3試合が行われる。注目は1位のオムロンが3位の北國銀行を地元熊本で迎え撃つ首位攻防戦。両者の対決はオムロンが1勝1分とリードしているものの、新年最初の対決もスリリングな攻防戦が必至だ。



④10得点をあげて琉球を勝利に導いた棚原  
⑤得点王争いのトップに立った湧永・成田

◆ 12月22日(日) 男子  
大阪・豊中市立豊島体育館

琉球 25 (13-12) 22 湧永製薬  
コラソン 5勝1分6敗 7勝1分5敗

1/2	9/18	棚原	志水	K	<0/1>
4/11	村山	木村			1/1
3/8	東長濱	坂本			1/3
0/0	水野矢	成田			7/14
0/0	積野	野村			4/6
0/0	榎本	野東			3/5
1/1	名嘉伸	佐藤			2/4
1/2	松信	樋口			2/2
K	内田	伊藤			K
4/6	名嘉真	仁平			2/2
2/3	内山	今井			0/0
0/0	中村	今松			K <1/1>
0/0	連	川			0/0
K	石田	小			0/0
0/0	水野紀	野			0/0

1/2 24/49 4(FPP)5 22/37 0/0

シュート阻止率	水	6/23	0.261
0.364	4/11	内田	
0.211	4/19	石田	
		志	
		伊	
		藤	
		村	8/15
		松	0.533

0.267 8/30 (GK) 14/38 0.368  
審判(河合・白井) 観客 1626人

### 第5回チャレンジ・ディビジョン

第5回チャレンジ・ディビジョンは12月15日に愛知でA、Bブロックの各1試合が行われ、Aブロックは大同大学が同朋クラブを大差で下して開幕4連勝、トヨタ自動車と同勝点で首位に並んだ。Bブロックは2位のHONDAが3勝目をマーク。このあと両ブロックとも来春1月から2月上旬にかけてリーグ終盤を戦い、2月22、23日に愛知・トヨタスポーツセンターで決勝トーナメントと順位決定戦を行う。

〈Aブロック〉

12月15日愛知・大同大学体育館

大同大学48 (20-5) 9同朋クラブ (28-4)

〈Bブロック〉

12月15日愛知・大同大学体育館

HONDA26 (18-13) 24 OSAKA SELECTION (8-11)

### 第16週の日程

1月11日(土)	三重	鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅徒歩10分)	15:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × 飛騨高山ブラックブルズ岐阜
	熊本	熊本県立総合体育館(JR鹿児島本線上熊本駅徒歩5分)	12:30~	(女)	ソニーセミコンダクタ × H C 名古屋
14:55~			(女)	オムロン × 北國銀行	

# 男女個人ランキング 第15週終了現在

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1	成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1	宋 海林	(メイプルレッズ)	74点	(10試合)
2	信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2	藤井 紫緒	(オムロン)	73点	(10試合)
2	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	72点	(11試合)	3	原 希美	(バイオレットアイリス)	71点	(11試合)
2	赤塚 孝治	(北陸電力)	72点	(11試合)	4	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	70点	(10試合)
5	高 景洙	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	5	高山 智恵	(メイプルレッズ)	54点	(10試合)
6	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	5	河田 知美	(北國銀行)	54点	(10試合)
7	豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7	増田 寛那	(メイプルレッズ)	52点	(10試合)
8	濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8	田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
9	樋口 睦	(湧永製薬)	55点	(13試合)	9	福井 美樹	(H C 名古屋)	42点	(10試合)
10	今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	10	横嶋 彩	(北國銀行)	39点	(10試合)

### フィールド得点

1	成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1	宋 海林	(メイプルレッズ)	64点	(10試合)
2	信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2	藤井 紫緒	(オムロン)	55点	(10試合)
3	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点	(11試合)	2	原 希美	(バイオレットアイリス)	55点	(11試合)
4	高 景洙	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	4	高山 智恵	(メイプルレッズ)	54点	(10試合)
5	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	5	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	46点	(10試合)
5	赤塚 孝治	(北陸電力)	58点	(11試合)	6	田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
7	豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7	増田 寛那	(メイプルレッズ)	41点	(10試合)
8	濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8	福井 美樹	(H C 名古屋)	39点	(10試合)
9	今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	9	高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ)	38点	(10試合)
10	出村 直嗣	(豊田合成)	49点	(12試合)	10	横嶋 彩	(北國銀行)	37点	(10試合)
10	芳仲 将行	(豊田合成)	49点	(12試合)					
10	村山 裕次	(琉球コラソン)	49点	(12試合)					

### シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	豊田 賢治	(大崎電気)	57点/78射	0.731	1	高山 智恵	(メイプルレッズ)	54点/74射	0.730
2	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点/86射	0.674	2	高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ)	38点/54射	0.704
3	信太 弘樹	(大崎電気)	72点/117射	0.615	3	田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点/75射	0.573
4	出村 直嗣	(豊田合成)	49点/81射	0.605	4	横嶋 彩	(北國銀行)	37点/66射	0.561
5	高 景洙	(大同特殊鋼)	59点/103射	0.573	5	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	46点/86射	0.535
6	成田 幸平	(湧永製薬)	73点/133射	0.549	6	藤井 紫緒	(オムロン)	55点/104射	0.529
7	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点/122射	0.541	7	宋 海林	(メイプルレッズ)	64点/126射	0.508
8	芳仲 将行	(豊田合成)	49点/100射	0.490	8	増田 寛那	(メイプルレッズ)	41点/92射	0.446
9	今村 彰伸	(豊田合成)	52点/114射	0.456	9	原 希美	(バイオレットアイリス)	55点/152射	0.362
10	赤塚 孝治	(北陸電力)	58点/131射	0.443	10	福井 美樹	(H C 名古屋)	39点/110射	0.355
11	濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点/127射	0.441					
12	村山 裕次	(琉球コラソン)	49点/126射	0.389					

### 7mスロー得点

1	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	20点	(11試合)	1	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	24点	(10試合)
2	東長濱 秀希	(大崎電気)	17点	(12試合)	2	河田 知美	(北國銀行)	22点	(10試合)
3	野田 祐希	(豊田合成)	15点	(12試合)	3	藤井 紫緒	(オムロン)	18点	(10試合)
4	赤塚 孝治	(北陸電力)	14点	(11試合)	4	原 希美	(バイオレットアイリス)	16点	(11試合)
4	渡部 仁	(トヨタ車体)	14点	(12試合)	5	増田 寛那	(メイプルレッズ)	11点	(10試合)
6	平子 卓人	(大同特殊鋼)	11点	(12試合)	6	金 恩恵	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	10点	(10試合)
6	樋口 睦	(湧永製薬)	11点	(13試合)	6	宋 海林	(メイプルレッズ)	10点	(10試合)
8	水野 裕矢	(琉球コラソン)	9点	(12試合)	8	柴田 理紗	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点	(9試合)
9	野村 喜亮	(大同特殊鋼)	7点	(12試合)	9	池原 綾香	(バイオレットアイリス)	6点	(11試合)
10	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	6点	(11試合)	9	吉田 起子	(オムロン)	6点	(11試合)
10	藤本 純	(トヨタ車体)	6点	(12試合)					

### シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1	甲斐 昭人	(トヨタ車体)	173本/387射	0.447	1	藤間 かおり	(オムロン)	154本/326射	0.472
2	志水 孝行	(湧永製薬)	157本/401射	0.392	2	寺田 三友紀	(北國銀行)	132本/296射	0.446
3	木村 昌将	(大崎電気)	78本/201射	0.388	3	飛田 季実子	(ソニーセミコンダクタ)	121本/297射	0.407
4	川添 将典	(北陸電力)	130本/380射	0.342	4	毛利 久美	(バイオレットアイリス)	128本/318射	0.403
5	久保 侑生	(大同特殊鋼)	70本/208射	0.337	5	田口 舞	(メイプルレッズ)	100本/251射	0.398
6	藤堂 聖二	(豊田合成)	119本/356射	0.334	6	戸塚 絢子	(H C 名古屋)	121本/350射	0.346
7	関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	143本/446射	0.321	7	菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	87本/328射	0.265
8	松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	75本/248射	0.302					
9	石田 孝一	(琉球コラソン)	75本/256射	0.293					

### 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	内田 武志	(琉球コラソン)	11本/19射	0.579	1	藤間 かおり	(オムロン)	9本/33射	0.273
2	木村 昌将	(大崎電気)	5本/15射	0.333	2	戸塚 絢子	(H C 名古屋)	3本/11射	0.273
3	有江 啓	(北陸電力)	5本/17射	0.294	3	瀧澤 瞳子	(H C 名古屋)	3本/13射	0.231
4	志水 孝行	(湧永製薬)	4本/15射	0.267	4	毛利 久美	(バイオレットアイリス)	5本/23射	0.217
5	木下 国大	(トヨタ車体)	5本/22射	0.227	5	山根 エレナ	(バイオレットアイリス)	3本/15射	0.200
6	藤戸 量介	(豊田合成)	5本/23射	0.217	6	山中 絵里奈	(オムロン)	2本/11射	0.182
7	関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	4本/23射	0.174	7	菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	5本/29射	0.172

# 第 38 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第15週第1日終了 12月22日

順位	男子	トヨタ車体		大崎電気		大同特殊鋼		湧永製薬		琉球コラソン		トヨタ紡織九州		豊田合成		トヨタ自動車東日本		北陸電力		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2								
1	トヨタ車体			30 ○	27 ○	30 ○	26 ○	25 ●	23 ○	32 ○	19 ○	29 ○	24	27 △	27 ○	33 ○	32 ○	33 ○	21	12	10	1	1	21	335	284	51
2	大崎電気	29 ●	30			26 ●	28	30 ○	27	25 ○	21	33 ○	37 ○	25 ○	34 ○	33 ○	32 ○	36 ○	30	12	10	0	2	20	370	301	69
3	大同特殊鋼	25 ●	26 ●	28 ○				21 ○	19	21 ○	23 △	30 ○	32 ○	30 ○		29 ○		34 ○	31	12	9	1	2	19	330	274	56
4	湧永製薬	26 ○	20 ●	27 ●	30 ●	19 ●	21			34 ○	22 ●	30 ●		26 ○	30 ○	29 △	26 ○	23 ○	21	13	7	1	5	15	333	322	11
5	琉球コラソン	28 ●	14 ●	21 ●	25 ●	17 ●	23 △	22 ●	25 ○			22 ●		27 ○		31 ○	21 ○	25 ○		12	5	1	6	11	276	290	-14
6	トヨタ紡織九州	24 ●		28 ●	29 ●	24 ●	25 ●	34 ○		23 ○				33 ●	26 ●	41 ○		34 ○		11	4	0	7	8	321	322	-1
7	豊田合成	27 △	21 ●	22 ●	21 ●	22 ●	22	22 ●	28 ●	26 ●		34 ○	27 ○			30 ●		27 ○		12	3	1	8	7	307	341	-34
8	トヨタ自動車東日本	23 ●		32 ●	22 ●	27 ●		29 △	24 ●	27 ●	18 ●	24 ●		33 ○				32 ○		11	2	1	8	5	291	327	-36
9	北陸電力	21 ●		24 ●	17 ●	18 ●	16 ●	19 ●	20 ●	20 ●		24 ●		23 ●		22 ●				11	0	0	11	0	224	326	-102

順位	女子	オムロン		広島メイプルレッズ'		北国銀行		ソニーセミコンダクタ		三重バイオレットアイリス		飛騨高山ブラックブルズ岐阜		HC名古屋		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2								
1	オムロン			24 ○	22 ●	26 △	27 ○	22 ○	25 △	24 ○	32 ○	23 ○		24 ○	30 ○	11	8	2	1	18	279	211	68
2	広島メイプルレッズ'	23 ●	24 ○			22 ●	28 ○	26 ○	27 ○	30 ○	28 ○	39 ○		30 ○		10	8	0	2	16	277	218	59
3	北国銀行	26 △	19 ●	33 ○	21 ●			21 ○		28 ○	35 ○	28 ○	35 ○	32 ○		10	7	1	2	15	278	205	73
4	ソニーセミコンダクタ	21 ●	25 △	22 ●	20 ●	20 ●				26 ○		25 ○	28 ○	28 ○	28 ○	10	5	1	4	11	243	198	45
5	三重バイオレットアイリス	17 ●	12 ●	25 ●	20 ●	17 ●	21 ●	19 ●				25 ○	24 ○	23 ○	25 ○	11	4	0	7	8	228	267	-39
6	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	21 ●		17 ●		15 ●	16 ●	16 ●	16 ●	19 ●	18 ●			21 ○	21 ○	10	2	0	8	4	180	265	-85
7	HC名古屋	7 ●	16 ●	14 ●		13 ●		8 ●	18 ●	16 ●	11 ●	18 ●	20 ●			10	0	0	10	0	141	262	-121

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けています。